

森、盛、オホーツク

林野庁 北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター

～キッズチャレンジクラブ森林教室～ 手作り遊具で笑顔いっぱい！

7 月 20 日（土）、オホーツクの森で、遠軽町生田原教育センター主催の「キッズチャレンジクラブ」（森林教室）を、森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得てサポートしました。

当日は小学 1 年生から中学生 3 年生までの 15 名が参加し、森の中や川縁で自然を満喫しました。

まずは「森の家」裏山の散策路に作られた 5 つの関門を、2 班に分かれて踏破するイベントです。



じゃんけんで勝ったら渡れる橋やトランシーバーや双眼鏡を使ってクリアしていくゲーム、そして今年初めての関門「樹木調べ」では、樹木の特徴を記したヒントを頼りに課題を見事突破しました。

裏山から戻ってきた子供たちは、川縁にオホーツクの会の皆さんが作ったハンモックやターザンロープ、ブランコなどに乗り笑顔いっぱいでした。

少し前まで山登りで疲れたと言っていた子もいましたが、すぐに元気に動き回りながら遊んでいます。竹を使った水鉄砲で遊び、びしょ濡れの子も続出です。昼食は柳の木の下にブルーシートを敷て食べました。よく話す子もいて、会話も弾みました。



～夏休み子ども体験デー～ 忙しくても、その甲斐はありました



8月6日(火)・7日(水)オホーツク木のプラザにおいて「夏休み子ども体験デー」が行われ、両日で子どもが約250名、引率者を含め400名が来場しました。この催しは、北海道農政事務所北見地域拠点と、国有林(網走南部・中部両署及び常呂川森林ふれあい推進センター)が、農林水産業への理解を深めてもらうために毎年行っているものです。

当センターは網走南部・中部両署及び森林ボランティア「オホーツクの会」の協力を得て、竹とんぼ・森の素材を使ったジオラマ・松ボックリのクラフト・丸太伐り体験等、多彩な催しを行いました。

今年は会場を新たに変更したことにより、木のプラザ奥の有料施設を訪れた家族連れがそのまま流れ込み、いつになく多くの来場者に中々昼食も取れないほどの大繁盛でした。

「枝や木片、種を使ってこんな可愛い物が出来るなんて」と、驚きの声を上げながら製作に夢中な人がいる一方、立ち見・順番待ちの人も多く、来年以降はよりスムーズに来場者を受け入れられる体制を考えなければと思います。

事後のアンケート結果では、苦勞?の甲斐もあって国有林ブースが1番人気の評価を頂きました。



常呂川森林ふれあい推進センター

http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/tokorogawa_fc/index.html

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11の3

【TEL】0157-23-2960 【FAX】0157-26-2144

